



一本道

相良中学校通信No.11

令和4年6月20日

校長 吉田憲一

1 人権学習！「考え、議論する道徳」

6月14日、人権学習の2回目が行われました。1年生は、「水俣病をめぐる人権」について、2年生は「聴覚障害者の人権」について、3年生は「いじりから考える友達関係」について学習しました。

3年生は、元AKBの高橋みなみさんが司会する「いじめをノックアウト」を視聴しながら、「いじり」について考えました。

あなたは、『いじりは必要』という意見についてどう思いますか？

という立山先生の質問に、生徒たちは、「賛成」「反対」「条件つきで賛成」「条件つきで反対」の4つの立場に立って、理由を言い合いながら、深めていました。まさに、「考え、議論する道徳」です。



相良中学校の先生たちは、このように、立場を明確にして、理由を話し合うという授業を、よく行っています。このような授業により、生徒たちの「思考力・判断力・表現力」が育てられているのだと思っています。

2 人権学習！「書くことは、考えること」

6月14日、人権学習の1年生は、「水俣病をめぐる人権」でした。教材「話したいと思うようになりました」は、主人公のお母

さんが、水俣病によって亡くなったじいちゃんやひいじいちゃんのことを、大勢の人の前で話したいと思えるようになった経緯が綴られたお話です。

参観しながら、生徒のノートを見ると、たくさん考えが書かれていました。その中でも、中釜君が一番多く書いていました。「書くことは、考えること」です。考えが整理され、自分の気持ちとしっかりと向き合っていました。

中釜君のノートは、ホームページでご覧ください。



3 期末テスト終了。なぜテストを行うの？

6月15日（水）～17日（金）、3日間の期末テストが終わりました。生徒会の「5000チャレンジ」の取組は、残念ながらあと少しで達成できませんでしたが、しっかりと期末テストと向き合った生徒が多かったようです。

でも、そもそも、なぜテストを行うのでしょうか。

まず、「知識の習熟を図るため。」「成績をつけるため。」という直接的な目的があります。

また、「評価は次の指導につなげるため。」という目的もあります。「指導と評価の一体化」と言います。つまり、「テストを活用して、その後の学びにつなげるため。」という考え方です。社会に出てからも「学び続ける姿勢」は大切です。「学び続ける姿勢」を身に付けるためにも、テストって必要なかなと思っています。

